

加速する出版流通システム タブレット試聴機 9 台を導入 提案型の売場作りに貢献

フタバ図書サウンド TERA 広島府中店は、今年 7 月、光和コンピューターのタブレット試聴機を 9 台導入し、各コーナーで展開する商品の試聴に活用することで、売り場の提案力向上に寄与しているという。

客層にあわせジャズ・クラシックなど品揃え

同店が営業する TERA 広島府中店は、フタバ図書の店舗で最大級となる 1370 坪の売場面積を持ち、本、ゲーム、CD、DVD / Blu-ray、トレカ、文具の販売と、ゲーム、CD、DVD / Blu-ray、トレカの中古販売、そして本、ゲーム、トレカ、CD、DVD の買取も行う大型複合店舗だ。



同社最大級の規模を誇る 1 フloor 1370 坪の TERA 広島府中店。右奥がサウンド TERA 広島府中店



今年 4 月に着任した遠藤店長

サウンド TERA 広島府中店は、同店の中で 280 坪を占めており、営業時間は 9 ~ 23 時、年中無休で営業。従業員は社員 2 人とアルバイト 22 人。遠藤祐司店長は、入社当初同店に配属となり、その後、明石店、アルティ福山本店、商品部、MEGA 中筋店を経て、今年 4 月に店長として同店に着任した。

「休日は 10 ~ 20 代のお客様も多いですが、平日は年齢が高めの方が多くなります」と、遠藤店

フタバ図書サウンド TERA 広島府中店

長は同店の客層について説明する。

こうした客層にあわせて、ジャズやクラシックを厚めに揃え、J-POP も 70 ~ 80 年代の楽曲を多くしているという。売り上げ構成ではやはり新譜が大きな比率を占めるが、在庫はこうした高めの年齢を意識した商品が 20 ~ 25% を占めているという。



客層にあわせてジャズの品揃えも充実

ラジオ番組の公開放送も

また、同店の特徴の一つが、ラジオのブースとステージを備えたイベントコーナーだ。

ミニコンサートなどのイベントは週に 1 ~ 2 回は開き、人気のアーティストが来店すると、黒山の人だかりになることもある。



毎週ラジオの公開放送も行われるブースとステージ

ラジオブースでは、広島エフエム (HFM) が毎週金曜 16 時半 ~ 20 時に放送している「庄司悟のリクエスト魂」の公開放送も行っている。これは地域の他店舗にはない設備だ。

試聴機で提案型売場を展開

試聴機はこれまで設置型のバーコード試聴機を導入していたが、売場の仕器を変更するリニューアルにあわせて、光和コンピューターのバーコード検索・試聴機 2 台と、タブレット試聴機 9 台を導入した。

導入によって、まずコストが下がるという効果があったというが、遠藤店長は「タブレット試聴機は棚に設置できるので、そこで展開している商品をすぐに聴いていただけます。各ジャンルの棚やエンド台に設置して、提案型の売場を作ることができます」と、これまでより積極的な売り場展開が可能になる点をメリットとしてあげる。

実際に、タブレット試聴機は新譜コーナーに 2 台、洋楽新譜コーナーに 1 台、J-POP 平台に 2 台、エンド台に 2 台、ジャズコーナーに 1 台、アニメコーナーに 1 台を配置。それぞれ面陳などでアピールしている商品を試聴できるようにしている。



2 台のバーコード試聴機では検索などもできる

関連商品で展開の幅広がる

また、このシステムでは、登録した曲に関連す



エンド台などで提案型の売場作りに力を発揮するタブレット試聴機



オススメの商品をその場で試聴できる

る曲が選択できるため、「新譜を入れるとそのアーティストの旧譜などが出てくるので、展開しやすくなりました。ただ単に聴いていただくだけで

はなく、提案の幅が広がるということは、CD ショップにとっては大きいことです」と遠藤店長は話す。

遠藤店長は、ネットでの配信などが普及する中で、若い世代が音楽を買う習慣がなくなりつつあると感じるという。そんななかで「良い売場を作って提案していくしかない」と考えている。そんな戦略を実践するために、タブレット試聴機は威力を発揮しそうだ。

フタバ図書サウンド TERA 広島府中店

住所：広島県安芸郡府中町大須 2-1-1-3022

イオンモール広島府中 3 F

電話：082-561-0773